



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄
- 大垣共立銀行 高山支店 4F



「初秋の錫杖岳」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

今回はビジョナリーピープルという書籍の紹介をします。著者はジェリーポラスほか二人。20年以上にわたって成功し続けている 200 人以上の人達とのインタビューを基に書かれています。



お金に恵まれた境遇から何かを始めた人はほとんどいません。ひどい環境だった人もいれば恵まれた人もいます。後世に残る偉業を成し遂げるための、わずかなチャンスをものにするただ一つの道は、自分が大好きなことを選択しその仕事に対して愛情を注ぐことです。世のため人のために奉仕しようという大義が、無心で全力をたせる原動力になっているようです。この錦の御旗が、仕事で最大限の力を発揮できる能力を身に着けることになり、生き甲斐となっています。性格的には人一倍の責任感、大胆さ、情熱、そして責任感を伴った楽観主義者であります。

最初はどうもいかなくても時間がたてばものごとは好転する、どんな答えの見えない難題にもその中にはチャンスが内在する、という信念を待っています。どうしようもない敗北の山を抱え、どんだの環境にいてもそれを笑ってこらえるだけの力があります。多くの人はとんでもない失敗や損失、そしてつらい失望の経験がありますが、逆にそこから役に立つ教訓や知識を手に入れ、驚くべき回復力つまり逆境から立ち直る能力を発揮しています。成功へ向かう途中には、失敗を経験する必要があり、逆境こそ仕事の実力を向上させるチャンスだと信じています。持続的な成功を収めている人たち全員に共通しているものが一つだけあるとすれば、それは彼らが皆失敗の達人だという事実のようです。失敗を糧にして成長しているということです。

最後になりますが圧倒的多数の人が、自分の成功は思いがけない幸運に恵まれた『セレンディピティ』と感じています。予測不能な苦難の中で、長い年月をかけて探しているものが常に期待通りの結果になるとは限らない。表面上はよろしくない、あるいは役に立たないと思われるものが思いがけないチャンスになるということです。

<幹事報告>

- ◎RI 日本事務局より
 - ・12 月のマーケットについて 1 ドル 80 円 (現行どおり)
- ◎ガバナー より
 - ・ロータリー世平和フォーラム広島 ポスターセッションの募集
- ◎ガバナーエレクト事務所より
 - ・ガバナーエレクト事務所年末年始休暇のお知らせ
12月28日(金)~1月4日(金)まで
- ◎高山市社会福祉協議会より
 - ・平成24年度高山市社会福祉協議会第3回評議員会の開催について
日時 12月18日(火) 午後2時より
場所 総合福祉センター 3階作業室
議題 社会福祉法人高山市社会福祉協議会定款の一部変更について
社会福祉法人高山市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算について



<例会変更>

- 高山中央 … 平成25年 1月 7日(月)は、新年家族例会のため 18:30~ ひだホテルプラザに 変更
14日(月) 法定休日(成人の日)のため休会
- 美濃加茂 … 12月21日(金)は、クリスマス家族同伴例会のため、
22日(土)18:00~ 汐の浜美濃加茂 に変更
12月28日(金)は、定款に基づき 休会
- 可 茂 … 12月 5日(水)は、年次総会・懇親会のため、
18:30~ に変更
12月12日(水)は、清掃奉例会のため、
2日(日)8:00~ 坂町町迫間川 に変更
12月26日(水)は、クリスマス家族例会のため、
23日(日)に変更

<受贈誌>

ロータリー財団「ロータリー財団補助金ニュース」

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	38名	13名	51名	51名	100.00%
本日	40名	-	40名	51名	78.43%

奉仕を通じて平和を

例会報告

<本日のプログラム> 米山奨学委員会

委員長 伊藤 松寿

[米山奨学記念奨学会とは]

全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本に学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学金事業です。日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命です。



その歴史は 50 年以上にさかのぼります。平和を愛し、青少年に手をさしのべた「日本ロータリーの父」米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952 年に東京ロータリークラブは、海外からの留学費を支援する国際奨学事業をはじめました。そして、1967 年に（財）ロータリー米山記念奨学会が設立しました。

これまでの、奨学生の採用数は、年間 800 人、累計で 1 万 5 千人以上で、出身国は 110 の国と地域に及びます。



[ジュニンの結婚式に参列して]

オーストラリアの元交換学生のジュニンの結婚式が、11 月 10 日にオーストラリアのカイアマというところで行われ、家内と二人で参加してまいりました。

ジュニンは、14 年前（1997~1998）に、高山に 1 年間滞在し、高山高校（現 飛騨高山高校）へ通いました。我が家へは、帰国前の 1 ヶ月間だけホームステイをただけでしたが、その後、東京外語大学へ短期留学をしたときに高山へ遊びにきたり、お姉さんと二人で高山へ来たり、2 年前には東京の友だちを訪ねた際も高山へ足をのばしてくれました。その後もメールのやりとりをしていました。

今年のはじめ、突然、電話で直接、「この秋、ショーンと結婚式をあげることになりました。ぜひ、お父さん、お母さん、出席して下さい。」とのこと。私も家内も「いいよ、出ます。」と答えました。ただし、ジュニンは、二人とも「着物」できてね、と付け加えました。

かくして、私は羽織、袴、白足袋、雪駄に扇子、家内も着物というかたちになりました。



ウェディング・セレモニーとウェディング・パーティーは、シドニーの南南西（電車で 2 時間半ほど）の海岸リゾート地、カイアマで美しい海岸をバックに百名以上が参加し、盛大にかつ和やかに行われました。式から披露宴のおわりまで、実に 8 時間もかかりま

したが、終始、感動を感じる楽しいものでした。

これで、ジュニン・スエイトは、晴れてジュニン・フェリス夫人となりました。

ロータリアンの皆さまにくれぐれも宜しくとのことでした。



奉仕を通じて平和を

例会報告

<ニコニコボックス>

●折茂 謙一さん

- ①本日は早川さん、ようこそご臨席下さいました。
- ②昨夜は交換学生研修会、出席の皆様有難うございました。鴻野さんご苦労さまでした。

●米澤 久二さん

- ・高山RCの早川宏治さん、ようこそいらっしゃいました。
- ・伊藤さん、本日のスピーチ楽しみにしております。よろしくお祈りします。

●小森 丈一さん、平 義孝さん

高山RCの早川宏治様のご来訪を歓迎します。財団地区補助金の受付は明日からです。どの様な活動を計画されていますか？

●伊藤 松寿さん

本日の例会は米山奨学委員会の担当例会です。前半は奨学事業のご案内をさせていただき、後半はオーストラリアの元交換学生、のジュニンの結婚式の報告にあてたいと思います。宜しくお願い致します。

●鴻野 幸泰さん

- ・昨日の国際奉仕委員会主催の交換学生研修会に参加下さいました会員の皆様、誠にありがとうございました。
- ・11月28日、家内の誕生日にお花をいただき誠にありがとうございました。

●田中 武さん

先日11月18日に結婚記念日のケーキが届きました。皆でおいしくいただきました。ありがとうございました。

●田中 正躬さん

昨日は結婚祝いのプレゼントが届きました。大変ありがとうございました。金婚式まではあと7年あります。遠いですね。

●堀川 和士さん

一昨日の高山市民時報に私の記事が掲載されました。久しぶりの祝大漁、100kgを超える重量でした。-60°C400%冷凍庫に収納しましたので、順次皆様の奥地に入ります様計画努力いたします。

●内田 幸洋さん

堀川さん、おめでとうございました。私はフィッシングはしませんので羨ましいです。

●井辺 一章さん

ニコニコ担当の平さん、小林さんの顔を見てニコニコを出します。頑張ってください!!旅館組合は100周年になりました。

●山藏 真輔さん

出張続きで久々の出席です。そしてバッチを忘れました。すみません。

●阪下 六代さん

なんやかんや言っているうちに、もう明日から師走です。私は一足早く土走ということで早退させていただきます。

●小田 博司さん

政党混迷、我が家も混迷、良い事ありません。早退します。早川様久方ぶりです。

●狹土 貞吉さん、洞口 良一さん

「中林和夫さんを偲ぶ」二人で良く酒を飲み、常にこの俺の身体を案じて優しく気遣ってくれた友人であり、飛騨一番の建築工事業者(営業マン)であったやり手の男、自称「俺は晴れ男」と言い、雨模様のゴルフ場でも謀反人がドライバーを握ると晴れる神通力を持ち合わせ、また『すいもんさ』と『いったんだらけ』は同じだ、と絶対譲らずのままあの世に早く旅立った中林和夫さんを偲び、心よりご冥福をお祈りします。

一期一会 「私のロータリー」 田中 武

平成13年3月に高山W・R・C・に入会させて頂いてから早や12年目を迎えています。当時入会を勧めてくれたのは同期生の脇本さんで、その頃は同期生が沢山いて、入会に付いては余り抵抗は有りませんでした。只、脇本さんは厳しい審査が有るので入会出来るかどうかは分からんと念押しされましたが、何も無かったんですね？それから出席、プログラム、新世代、親睦、SAA、社会奉仕、クラブ奉仕等、各委員長をさせて頂き、始めは分からない事ばかりで大変でしたが経験者の皆さんに教えて頂き、曲りなりに何とかやらせて頂いています。全てが良い経験になり特に異業種の方々とのお付き合いは非常に勉強になります。今後も驕ることなく西ロータリーの会員として恥ずかしくない行動をしなければならないと思う今日この頃で御座います。ロータリーの綱領、四つのテストを本文とし頑張っていきたいと思います、自分一人では何も出来ません。メンバーの方々とより以上に友好を深めロータリーと共に成長したいと思います『合掌』

一期一会 寺田 昌平

私が西小サッカーのコーチをしていた時、以前より親交のあった元全日本GK、トヨタ自動車サッカーチームGKの西垣氏より、トヨタ少年サッカーチームと練習試合の要請があり、試合をする前お互いに言葉を交わし、頭を下げて礼をした時のことである。私が礼をして頭を上げると、西垣氏はまだ深々と頭を下げておられ、私は慌てて最敬礼をしたのである。人生においてもサッカーにおいても大先輩に対する非礼を恥じつつ、頭を下げたことを思い出します。少年たちとその親がいる前で、大人でコーチの私が教えられた一瞬であり、今でも私の心の中に深く刻まれています。

「実るほど 頭の垂れる 稲穂かな」